

北の住まいるタウン 事例見学ツアー参加報告

■開催日 令和2年10月29日（木）

■開催地 恵庭市

■参加者 ①山田委員 ②松下委員 ③渡邊

令和2年12月28日

令和2年度 第4回富良野市都市計画審議会

ツアー参加の目的

①北の住まいるタウンとは・・・

北の住まいるタウンは「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える」取組を一体的に展開し、安全・安心、暮らしの質向上、コミュニティの再生や、地域産業振興、雇用創出につなげ、心豊かに住み続けられる地域を目指す北海道庁が主催する取り組みです。

ツアー参加の目的

②ツアー参加にあたって

今年度の北の住まいるタウン事業の取り組みとして、恵庭市における事例見学ツアーが企画されました。

恵庭市は「花のまち」としてJR3駅を中心としたコンパクトなまちづくりや、都市計画法における地区計画を手法とした宅地開発をすすめていたことなどから、当審議会でのツアーへの参加をしたところです。

ツアー行程

- ①緑と語らいの広場「えにあす」
- ②恵み野商店街・研究村通り・優良田園住宅
- ③道と川の駅 花ロードえにわ
- ④花の拠点センターハウス
- ⑤漁川（いさりかわ）親水空間（公園）
- ⑥ふれる恵み野
- ⑦意見交換

①緑と語らいの広場「えにあす」

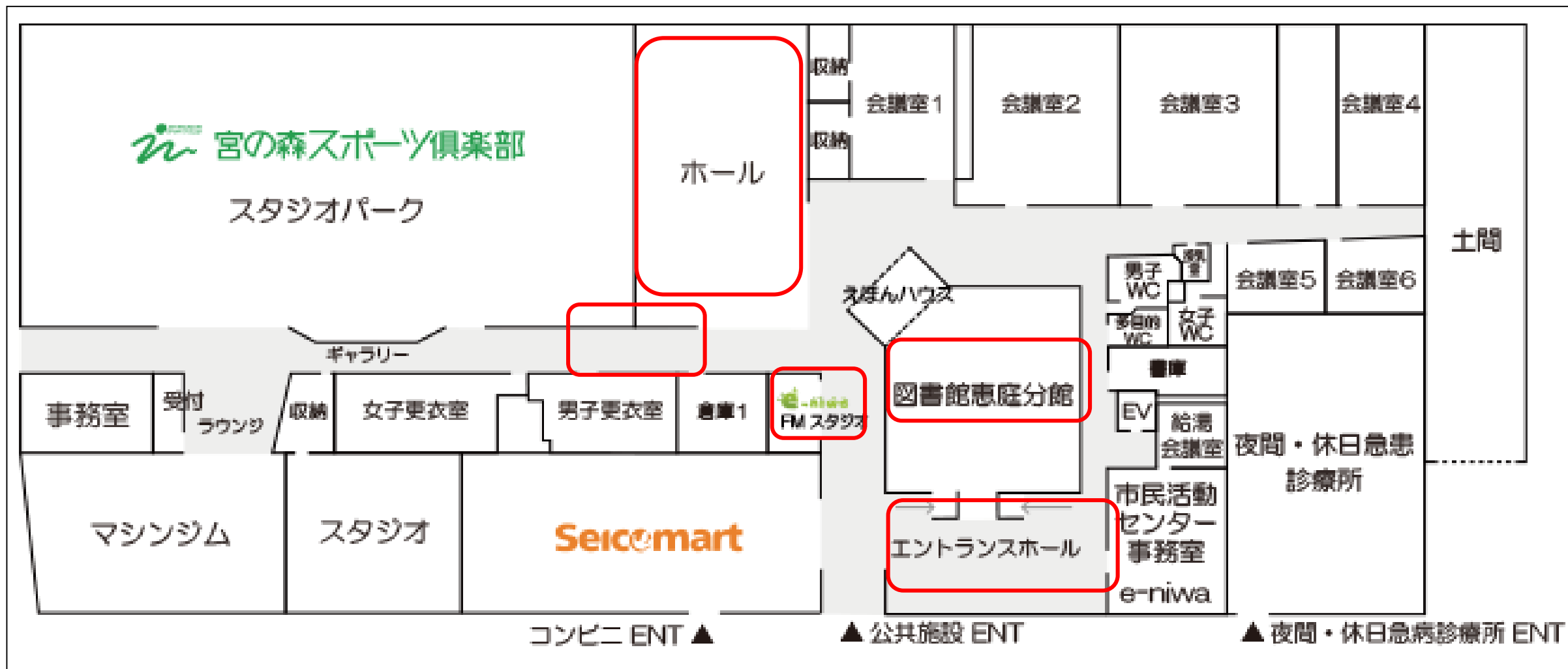
「えにあす」は、平成23年に住民が主体となった恵庭地区まちづくり市民委員会において「子どものための拠点・地域の交流拠点を創ること」が議論され実現した公共と民間が一緒になった施設です。

【公共機能】～市民活動センター、保健センター、
夜間休日・急病診療所、図書館分館、
学童クラブ、子ども広場、子育て支援センター等
(2,355m²)

【民間機能】～健康増進機能（フィットネス・スポーツクラブ）
生活利便機能（コンビニ）
地域情報発信機能（FMラジオ） (1,348m²)

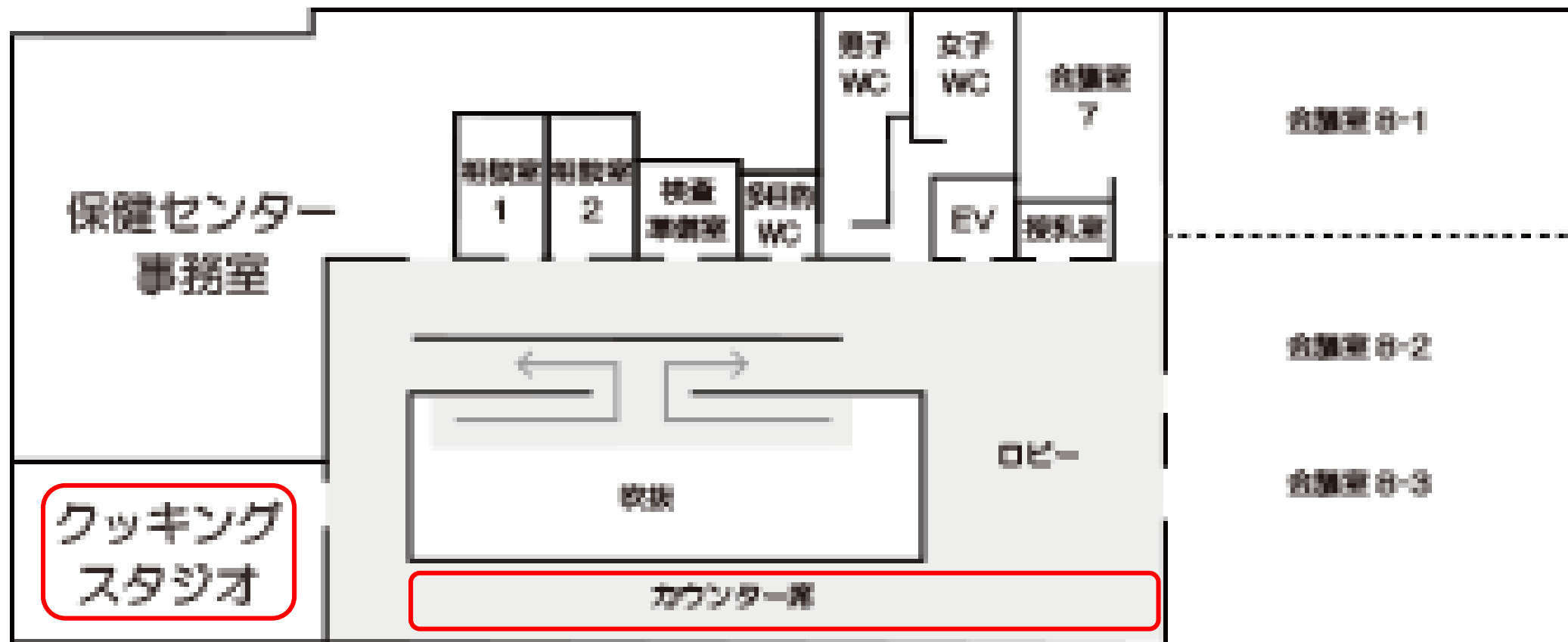
①緑と語らいの広場「えにあす」

1F



①緑と語らいの広場 「えにあす」

2F



①緑と語らいの広場 「えにあす」



施設内は、仕切りのための壁や扉を少なくすることで、開放的で交流しやすい空間としている。また、公共と民間の仕切りもなく、自由に行き来できる仕様となっている。

①緑と語らいの広場 「えにあす」



学習スペース
フリーWifi完備



保健センターと
して調理室が
あり会議室とし
ても利用可能



開放的なFM
ラジオスタジオ

①緑と語らいの広場 「えにあす」



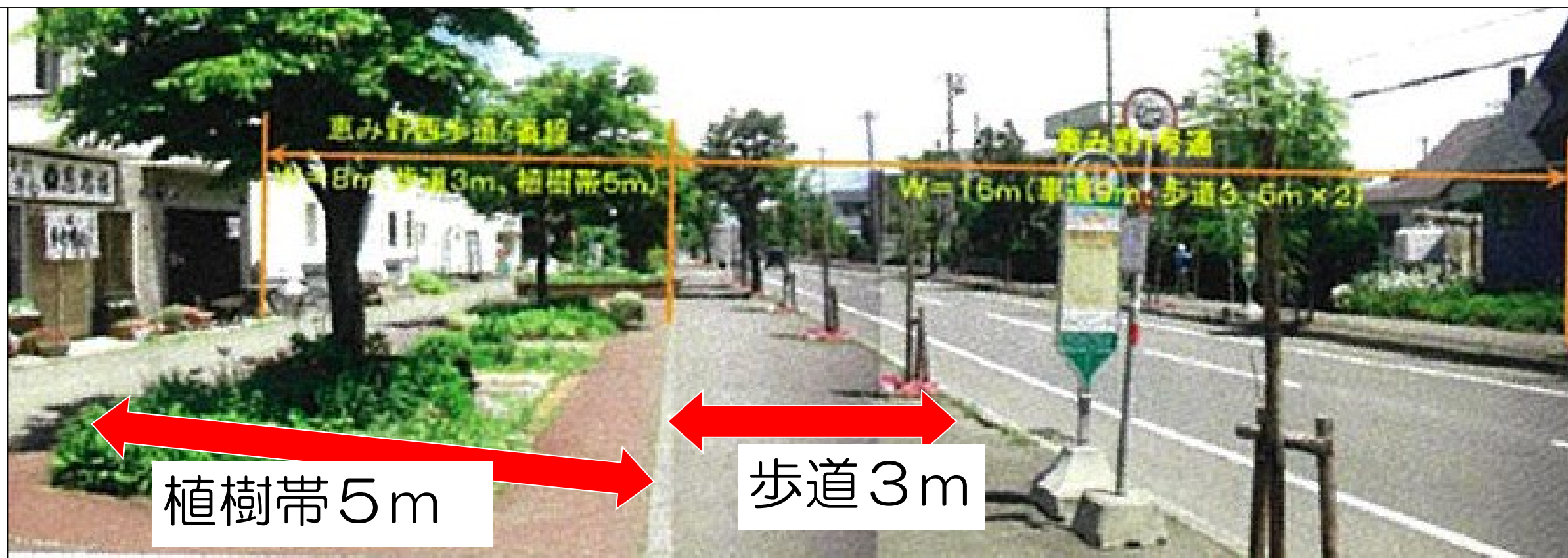
学童や子ども広場として活用できる
多目的広場。ロールカーテンで廊下
と仕切り



図書館分館
頭上に告知用の棚

②恵み野商店街・研究村通り・優良田園住宅

歩道3mのうち一部に駐車帯を設置し、商店街に集まりやすい工夫。
植樹帯5mの管理は、各商店のみなさんで整備。 商店街と市で管理協定
締結。



②恵み野商店街・研究村通り・優良田園住宅



②恵み野商店街・研究村通り・優良田園住宅



研究村通りは、業者間の建築協定により、ビルトインガレージの建物が立ち並んでいるが、宅地開発から年数が経過し、売買などで所有者が変わることで建物の統一性に課題が生じている。

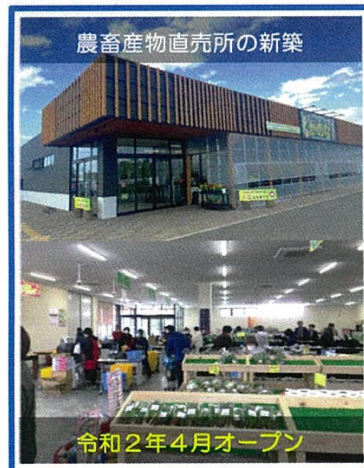
②恵み野商店街・研究村通り・優良田園住宅



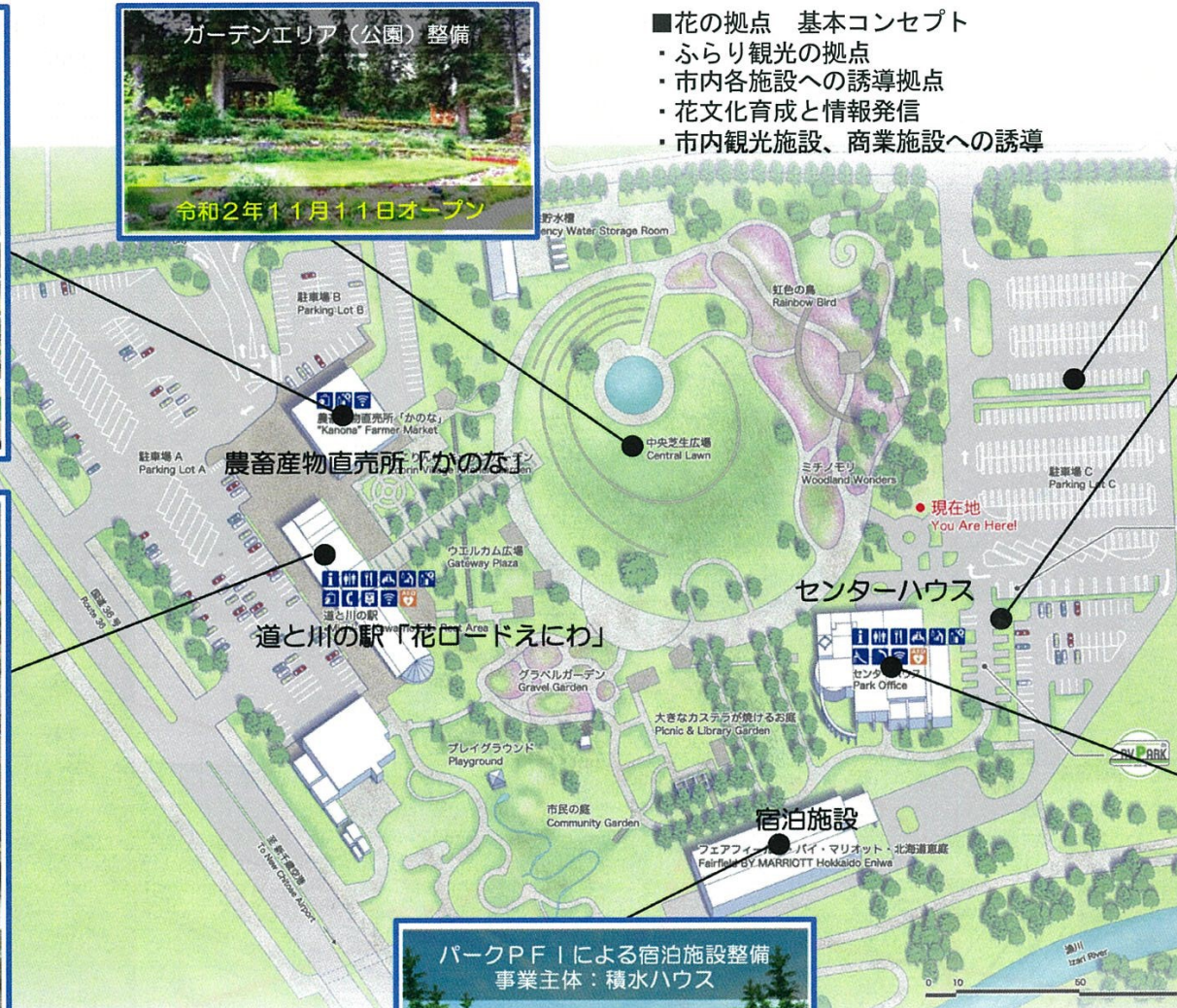
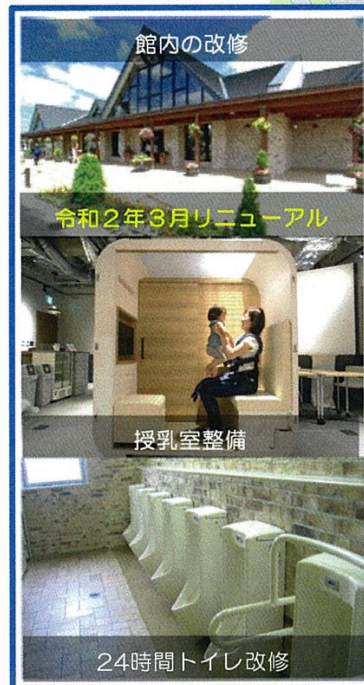
優良田園住宅（ブレストガーデン）は、地区計画により敷地面積の最低限度400㎡、建築物の高さの最高限度10m、壁面の位置の制限2mの規制と、木目デザインにするよう業者間で建築協定を締結している。

資料① 花の拠点整備事業の概要

資料4



- 花の拠点 基本コンセプト
- ・ふらり観光の拠点
 - ・市内各施設への誘導拠点
 - ・花文化育成と情報発信
 - ・市内観光施設、商業施設への誘導



③道と川の駅 花ロードえにわ



左：令和2年4月に道の駅敷地内に農畜産物直売所「かな」オープン
右：道の駅内の飲食ブースには、テントやハンモックが設置され、家族
連れで楽しめる工夫がされている。

④花の拠点センターハウス



左：旧保健センター（H6年）

右：駐車場にはRVパーク10台分が整備され、キャンピングカーを誘致している。また、施設にはシャワー室や洗濯室が完備されている。

④花の拠点センターハウス



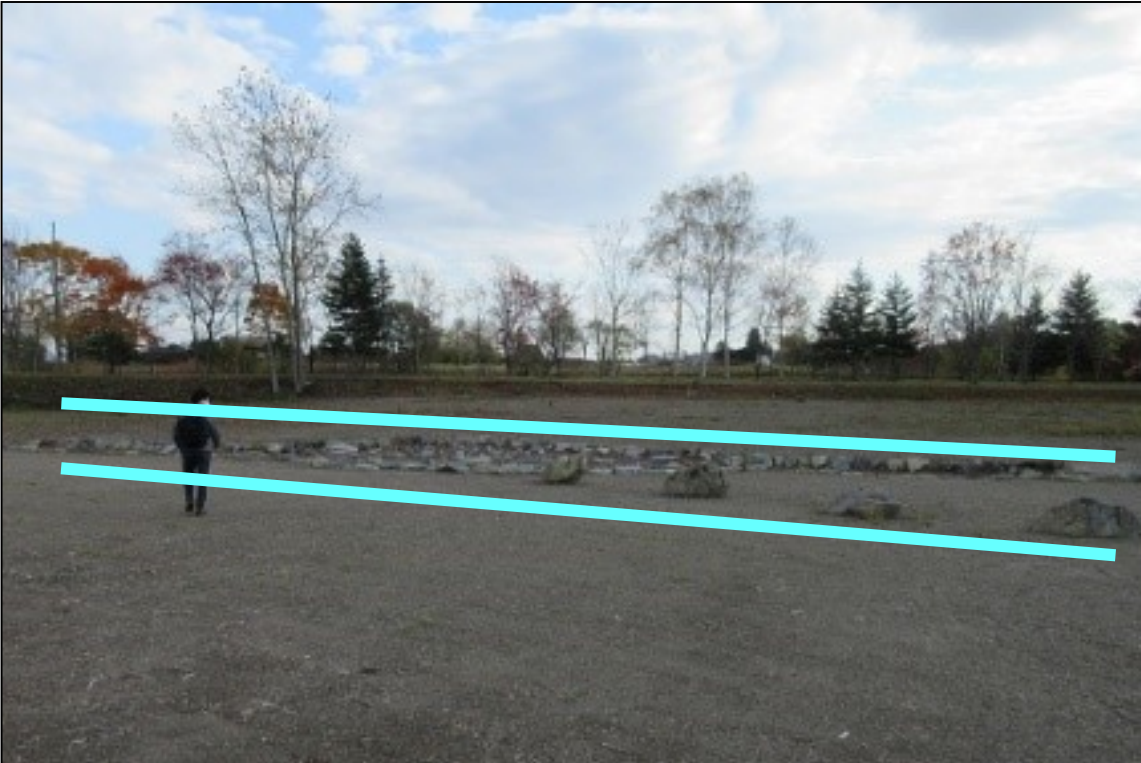
施設2階を改装し「子どもの遊び場」を整備、運営は民間に委託。
幼児が本を読んだり休憩するスペースもあり、家族連れで訪れた場合に大人は花観光、子どもは同施設で過ごすことができる。

⑤漁川親水空間（公園）



旧保健センター外に設置されていたベンチを移設、遊歩道には廃材（丸太）を輪切りにして埋め込んでいる。

⑤漁川親水空間（公園）



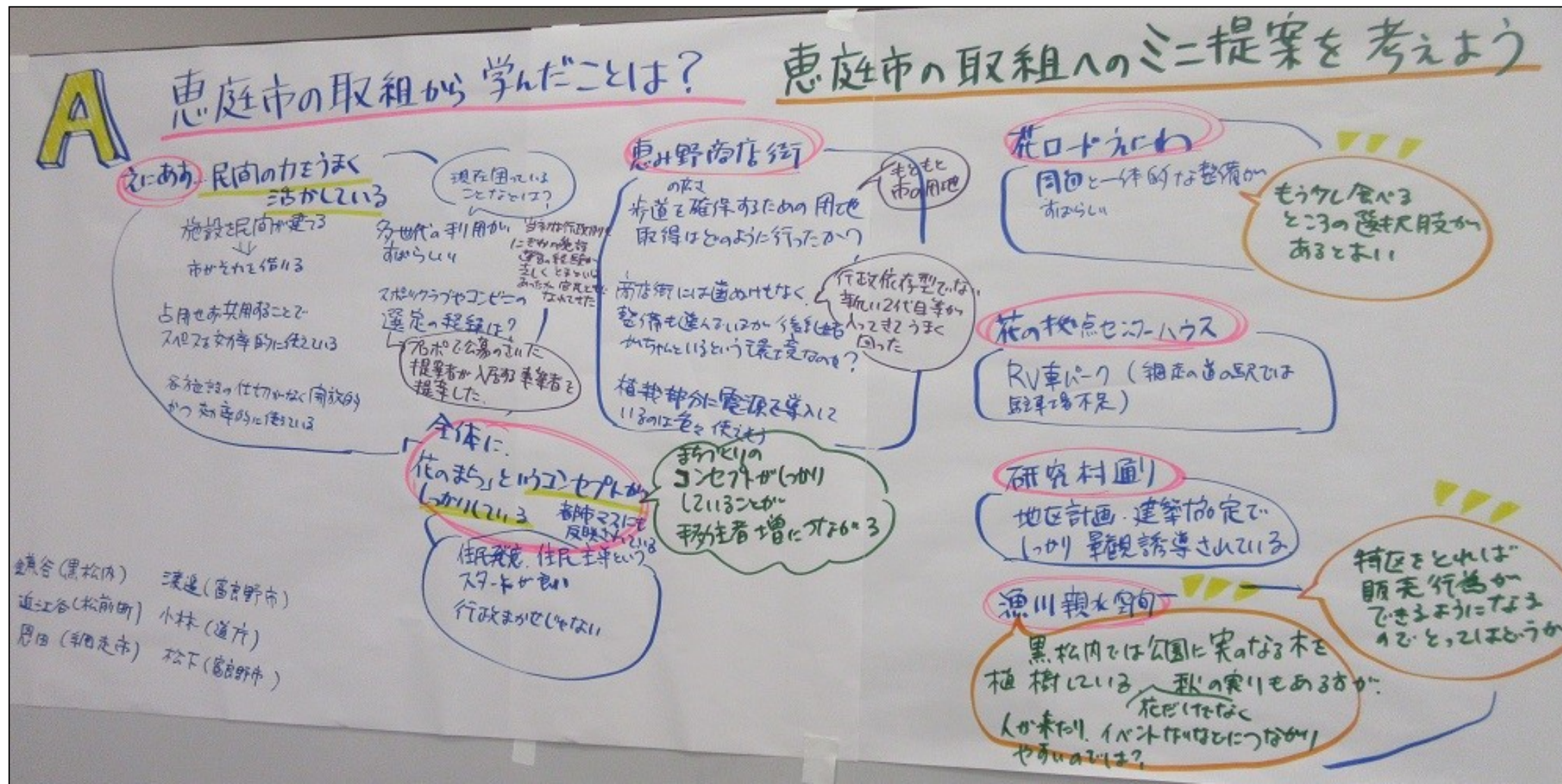
河川近くの湿地（雑木多数）に工事残土などを利用して整備。小山を作ることによって冬のソリ滑りなど家族連れが来たくなる仕掛けをしている。せせらぎのある水辺は、石を集めて敷設。すべて直営で実施。

⑥ふれる恵み野（住宅団地）



地区計画により、敷地面積の最低限度300㎡、建築協定により3階建て以上及び地階の建築禁止や周辺環境と調和する色彩を用いることが定められている。漁川親水空間に隣接している。

⑦意見交換



⑦意見交換

【①恵庭市の取組から参考になったこと】

- 「花のまちづくり」というコンセプトが確立されており、その背景には市民活動がある。
- 民間のスポーツクラブとコンビニを誘致し、そこに市民活動拠点や保健センター機能を複合させることで、市民が集う拠点となっている。
- どんな機能を掛け合わせるかがまちづくりには必要だと感じた。

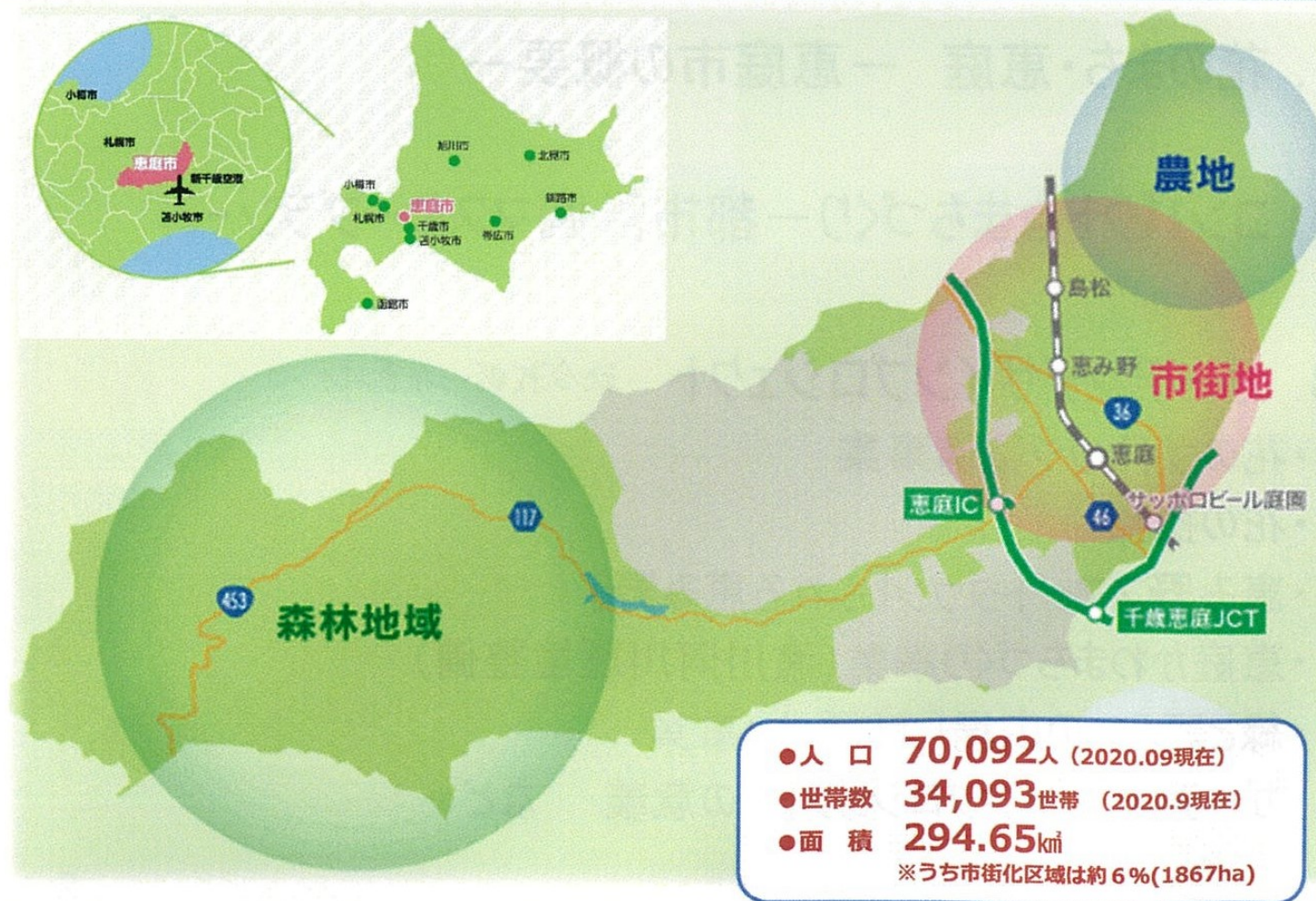
⑦意見交換

【②恵庭市の取組への提案】

- 経済活動の取組として、キッチンカー誘致、飲食店舗の充実、イベント誘致など
- 文教大学生とのコラボ企画と学生の定住
- 高齢化に伴う維持管理の継続が課題。維持管理組織の育成。

恵庭市の基礎資料

1-1 恵庭市の位置



恵庭市の基礎資料

1-2 恵庭市の人口推移

